



三壺記
九



と臺園書卷之第九目録

- 一 利家公の山のゆかりの事（所引趣の事）
- 二 吉村文丹所創禁の事
- 三 船あつ利長と山遊の事
- 四 芳春院のゆかりの事（所引趣の事）
- 五 瑞龍院極乃山遊の事
- 六 大坂陣の起りたる事
- 七 大坂城着刻の事
- 八 大坂陣のゆかりの事

九 加賀藩あり村先人の好むの事
十 軍役御定の事

之臺圖書卷之第七上

一 村家公の事

慶長十六のころ大田所家原將軍の上洛をうけしより
大坂の御用をうけしより村家公の御用をうけしより
そのの男をよむるに御用院の御用をうけしより
徳川の御用をうけしより村家公の御用をうけしより
西行公の御用をうけしより大田所公の御用をうけしより
ませられ後河内御用をうけしより村家公の御
用をうけしより大田所公の御用をうけしより

を海舟石舟を以て 芳春院何勢以事宮多うし
孤次の山地をのためとて中へうる 然らぬもさお本し以與
以須家如接するは後居るをお庭ひあるをはより并並
せ給ふ橋凡庭居由に連らうしとよの山を以て以伏波
文中又得る大西所より山地をふまそ山守由也を
事文より山への諸候よりをねとよるを所
山洗しと山田はわわく福井公居るを又平尾方一
山又多うれとれより日高卯宮山公よりよ山社宗
はとやと山守居るをこれよりとれより並子福倉
山とぬるこれと山守あるをこれ何世との山金取
くせとぬんがわ

二 古村と舟山割種との

至也十七年、後陽成院の仰子大上皇四年二十集
とて山師位ありと山守後向各山所より諸事以江持
山掃をえさめくこれと院の山所も尚今と各山所諸
事山敷意と深くしとて事限りや 残月
朝りの光と奪り且大坂八張ありしとて秀吉公の仰
おらのぬる者えのし事合く世の事とお後とをえ夫

後私より秀頼公の山運し山麓より江戸路向の山
下と山原よりしりせりて君の山代を賜け給ふりよ
しめし山あり早しりせりて目めかありしよし
しりぬりしよし公より各山所山威徳を以て給れり
世の中危く山ありし山との宮社と申建立ありし
慶長九年は大山原のつとて給と語せられ伏見和堂
陸の海と書せし山をさるる山新念と申すし
陸ありしよし山ありし山ありしよし是れ
頼公の山代とて成りし時が後の大山所
東原より秀頼公軍（行きまき）天下の吾村と申す
割禁ありし山のてまきしんを賜と返却し宗門と
らるる者より山代ありし山ありしよし
しりぬりしよし山ありし山ありしよし
丹の山代ありし山ありし山ありしよし
て二山ありし山ありし山ありしよし
是れ山ありし山ありし山ありしよし
山ありし山ありし山ありしよし
山ありし山ありし山ありしよし
山ありし山ありし山ありしよし

而方の無双十次郎とて天下一の貞かひなき毎の張といひ
これ諸人えぬ均なりと云ふ事なり

此をえぬ事ありと云ふ事ありとて十次郎と
る事ありと云ふ事ありとて十次郎と横山大膳と嫁
取の事ありと云ふ事ありとて十次郎と
よ事ありと云ふ事ありとて十次郎と
為事ありと云ふ事ありとて十次郎と
甚事ありと云ふ事ありとて十次郎と
上事ありと云ふ事ありとて十次郎と

年之月下旬に京都へ吉村文丹を上とせしめて板倉
防務をくわへて送りし事ありとて十次郎と
陰謀をくわへて送りし事ありとて十次郎と
利至丹山味の間陰謀をくわへて送りし事ありとて十次郎と
て新人をくわへて送りし事ありとて十次郎と
仲介の事ありとて十次郎と
けし事ありとて十次郎と
よ事ありとて十次郎と
事ありとて十次郎と

肥あす利と云ゆ遊云のり

慶長十九年の暮のたよりあり小公は是の初年肥あす利と云例
ありぬゆゆきと云金匠の醫匠減原持良といふ摩法は
ありあつたを次あつてよきとせ給て金匠より能前守利
先公と給のよりうらうらとて下人右小右物取ふと云よ給
ぬゆゆきを伺ひよきとて其杖氣のゆゆきとてゆきと
ゆ遠之とてよ作金匠ゆ遠也を信置れ五月廿日卯此期
よ四年の甲子とてゆきと給よゆ遠云ふされあり小のゆゆき
始のより下下の款ふゆ遠に地しよき金匠より室宮
伴あり高と云ふられゆ遠送給されゆ遠在瑞龍院辰贈亞相
聖山英賢大居士と名しよきゆ遠院所ゆ遠立よき利院
龍院と名す毎月ゆ遠のりよき利院云金匠よりゆ遠のり
ゆれとて高院の別と勤女の職を考へ幸病癒了事はゆ
小のゆゆきゆゆきとてゆ遠のゆゆきゆゆきゆゆきゆゆき
れとて金匠院辰と名しよきゆ遠金匠ゆ遠院辰と名すゆゆき
分横山大徳院辰へゆゆきゆゆきゆゆきゆゆきゆゆきゆゆき
ゆゆきのゆゆきゆゆきとてゆ遠云ふされ輝中のゆゆきゆゆき
院棟とて名すゆゆき

うとまをこれ月く夜くよの寝るは山海のとどふら
しくよ上をせすよ山の中好まはれせせむら行を
山月之も女影く山をせよと山棲鳩窺ひあり打井飛
宿の山内室宇長多中納之山栖室ありは山娘子
よのふりまれしよよなをす小似者の内よてハ七配瓦
京母末忠の多田八郎兼内室奥田山田ははの後室ハ
日く兼くよ山にまくお給尾池山来のうお給んしと
庵のよる山の中をく山お預芳春院極玉泉院極山
在るこれと山僧中振や如のトよよよなをす所
方山軍よとくと山用まけくお給るお山お母のらり
お山と山お杖万氣の視の^{いん}山く山人とまの文よ
あま母とけくわし山後地門を芝居と立踊り子操^{おさ}
こまののえお場を折と御城一居守られお給る立岸
あまの胸りわ牛玉の娘くくと山崎御掃別らよちり娘
十二はけはらちとあまよ風流^たたれと山星とまの好おを
アアおまもけし様と山の駕をてと山城の上ろく尻を
松葉松を照^てとておまくよ山にたれと山警あめお
しと知れしおまのうらや山に代えお

くと月りと送るは、
戸後河にハカレてとる
を考ねんと家成の後と天下とを
とのと、早と江戸後河とハ
毎中下父の軍へつる上とハ
此の諸のト知ると同じに
は合と家と野公と云んと
おと、まると流と秀忠と考ね
に、う、後河の山とあり大
母の正字と大野修程の
まは、何事の子細と云
元治し、う、なと云と考
何の事の中、著とれと家
後、う、れ、の、作、は、う、と、考
其の野公の企とと早と
せ、う、の、と、と、人、の、法、と、
石、回、及、送、り、と、味、せ、
か、の、は、あ、れ、と、と、知、と、と、

是れし毎尾の由表の由(一)多(一)勢をあらわす
口説(く)ね情(じやう)あましくもたし由表の一人勢の由(一)戸多
也秀形(しやうけい)極(こく)を國(こく)習(じゆ)みたる(一)後(ご)各(おの)市(いち)正(せい)中(ちゆう)流(りゆう)しに鐵(てつ)
軌(き)心(しん)あめ(一)舟(ふね)よみ海(うみ)の市(いち)正(せい)公(こう)勢(せい)の事(こと)あらはれり
多(おほ)くは給(たま)ふ(一)と(一)中(ちゆう)に(一)由(ゆ)表(へい)の諸(しよ)友(とも)は倒(たふ)す伏(はく)
て(一)は(一)ま(一)り(一)先(せん)下(か)り(一)斤(しん)相(さう)市(いち)正(せい)也(や)と(一)中(ちゆう)に(一)は(一)尾(び)
中(ちゆう)に(一)は(一)流(りゆう)の(一)由(ゆ)表(へい)の(一)大(だい)野(や)流(りゆう)本(ほん)打(うち)を(一)後(ご)初(しよ)日(にち)を(一)
せ(一)れ(一)鐵(てつ)田(でん)吉(きち)公(こう)(一)由(ゆ)表(へい)と(一)市(いち)正(せい)及(お)違(ちが)ひの(一)義(ぎ)前(ぜん)代(だい)末(まつ)
也(や)の(一)に(一)中(ちゆう)に(一)も(一)あ(一)り(一)刑(けい)罰(ばつ)に(一)せ(一)ら(一)る(一)事(こと)も(一)作(さく)乃(の)ゆ(ゆ)め
也(や)の(一)方(かた)公(こう)係(けい)り(一)は(一)市(いち)正(せい)刑(けい)罰(ばつ)の(一)事(こと)も(一)山(やま)所(しよ)を(一)敵(てき)に(一)し(一)り(一)け
り(一)も(一)中(ちゆう)に(一)は(一)一(いつ)と(一)引(ひ)張(は)り(一)何(なに)と(一)違(ちが)ひ(一)同(どう)一(いつ)と(一)
も(一)尾(び)の(一)女(め)を(一)勢(せい)分(ぶん)用(よう)か(一)る(一)事(こと)も(一)中(ちゆう)に(一)止(と)め(一)り(一)只(ただ)あ(一)り(一)如(ごと)く(一)圓(えん)
也(や)(一)山(やま)陰(いん)の(一)由(ゆ)表(へい)神(かみ)經(きやう)に(一)和(わ)情(じやう)あ(一)ま(一)る(一)事(こと)も(一)又(また)日(にち)の(一)勢(せい)あ(一)り(一)
一(いつ)は(一)也(や)の(一)事(こと)も(一)屋(や)を(一)中(ちゆう)に(一)終(しゆう)り(一)れ(一)る(一)事(こと)も(一)秀(しゆ)形(けい)公(こう)一(いつ)は(一)由(ゆ)
同(どう)公(こう)の(一)運(うん)と(一)も(一)位(い)せ(一)先(せん)市(いち)正(せい)の(一)刑(けい)罰(ばつ)も(一)中(ちゆう)に(一)は(一)り(一)め(一)る(一)
も(一)市(いち)正(せい)と(一)是(こゝ)に(一)格(かく)り(一)ら(一)る(一)事(こと)も(一)音(おと)重(おも)き(一)と(一)引(ひ)張(は)り(一)と(一)又(また)也(や)
立(た)退(たい)坂(さか)の(一)城(じやう)一(いつ)は(一)引(ひ)張(は)り(一)也(や)大(だい)反(はん)中(ちゆう)路(ろ)を(一)中(ちゆう)に(一)上(かみ)と(一)下(した)と(一)也(や)
一(いつ)は(一)大(だい)反(はん)の(一)城(じやう)一(いつ)は(一)勢(せい)城(じやう)の(一)事(こと)も(一)中(ちゆう)に(一)金(かね)根(ね)と(一)也(や)諸(しよ) 諸(しよ)

寧人をとりて宗土の邊の山に成兵格也、實念道法具足の
 用き、その後、五歳とけく、山國長務に奉じたり
 とて行長〜

七 大坂御幕列の事

大野治徳	目伝港守	目	目	後部目録	小幡摩子
幾田有樂	目上野子	伊予丹後子	福屋花屋	坂園書	
後藤又兼	本村長門	目	目	細川波	中務左衛門
五子民部	目主	本村	本村	速水甲斐	
目兵衛	伊予官	伊予兵衛	山右衛門	色長中官	
生駒清書	村井石	野村	若田	本村	
黒川新子	依家	別下	津川	津田	
平塚左衛門	野村	志野	竹田	美崎	
山川希乃	之原	之原	之原	長	
高田左衛門	是部	信	井	伊予	
伏見左衛門	松本	神保	島川	今	
結城雅樂	信部	松浦	萩田	下	
上田兵部	之上	の	人	大	
松島馬書	山人	伊丹	山	生	

同隆殿	同大陽寺	同吉原寺	同當山寺	同當山寺	同在東京
同平八	同下後寺	中多之法	同信徳寺	同信徳寺	同辰濃寺
同牛勢	同岸大陽寺	同岸大陽寺	同志山寺	同志山寺	毛利長門
細川越中	是田在左	同市正	福清左衛尉	同信濃寺	同信濃寺
同吉部	同加加寺	同信濃寺	池田氏務	同丸山尉	同丸山尉
同越後守	上板瓦寺	依所信濃	加多肥後	同武部	同武部
同在左	同石道	多堂和寺	後地但寺	同京女	同京女
瑞崎信徳	同信後守	弓沢志右	堀尾山城守	同信後守	同信後守
京極和棟	同丹後寺	惠和道	伊丹掃部	同監物	同監物
柳原幸隆	生駒隈成	金丸和寺	業山信和	同丸山尉	同丸山尉
石川之左	小豆京右道	同信徳寺	同吉部	同信徳寺	同信徳寺
福原信隆	同先亡	阿部海軍	牧野信隆	同後河守	同後河守
同飛騨	同友和寺	友保和寺	脇坂中智	同信濃寺	同信濃寺
戸田九門	立花石道	永井石道	同信徳寺	同并大炊	同并大炊
同知和寺	水野日向	寺井在左	堀丹後	同友和寺	同友和寺
水野各侍	坂倉吉房	奥田平兵衛	竹中守直	松下石道	松下石道
秋田城之女	福垣信隆	奥山和寺	九尾山寺	大沼吉房	大沼吉房
吉田大膳	一柳監物	仙石和寺	吉田河内	新庄越中	新庄越中

市橋下統与	菱沼織部	伊豆守	上波之城与	西尾是清与
京田丹次与	分那左京	徳永九与	石川七与	为家左与
園主馬	伊豆守	根津左与	西尾是清与	六ヶ兵庫
桐与大左	市右左与	小太夫与	同位左与	右与伊豆守
阿部左与	徳川守与	池田守与	南波之城与	西尾是清与
千加左左	小原左与	山田左与	井上左与	牛川内膳
水野監物	松浦肥与	長部左与	秋月七与	高橋左与
之浦志与	左巻左与	白舟左与	也吾左与	西尾是清与
行桐市正	同	主膳		

けりしと云ふ御小仕に六百とあり是乃在と乃人々好とと
 是の如く天と輝く行烈中々筆も乃以越く都合
 有増之十乃誇り余々々々共七十九年十月十日小泉
 原云二條の城を以てなされ伏見の城へ入せり是は
 又夫和法を以てし陳と正とられ十七日は務部左与
 也と好と云ふ秀忠將軍と平長(一)にて子野子御着十八
 日大市下を以てし所長陳四軍配と以て定め佐藤に備法
 家の紋幕を以て凡そ之の如く白雪万里に申す子野山の
 桜も~~~~~

九 加賀藩より利光人好梅の事

加列利光公も山正江戸を十月下旬より江戸に参りて同十日
越中の陽より係と云ふ所の江戸分莊御参りて大坂(寺)
より参りてふとの事なれども参入給ひ申此列の場所立
十日より金沢へ御入候中二日逗留せよ其日御解休上り軍
役御定の先より人好を十日より金沢参りて利光公大坂より
て山正参りてと申す事多し金沢城代は奥村信隆永福入在
候公小松山城代赤田勘三郎長権入在源守大聖坊の城
代津田重久入在道宣^{カキ}参りて大和越中奥村信隆
公依後今右勤と世系云々前山より津田刑部七尾より福
多と云々大井久兼各々力好外参り

十 軍役御定事

武者奉行 松平伯耆^{康定} 水野内通

以族奉行 多水勘右由左衛門 大塚を改

空子^{空子} 岩田内務卿
井上勘右衛門

御弓上尾坂徳氏 後加左衛門 江中又兼

縁赤く相違くなく云々白く

同

岩田勘右衛門 不破源六

藤井く和頁九字句

同

龍川玄蕃

大西金石丸

藤井く和頁九字句

同

不破善成

吉田頼母

藤井く和頁九字句

同

高田玄蕃

板坂市右馬

藤井く和頁九字句

同

一色之悟

子野孫比古馬

藤井く和頁九字句

西三上腰抄如金の小籠長五人福善人翌年卯の年ハ

かー三上と取置りあり

平地江左馬

勝石右馬

吉田頼母

江守玄蕃

吉田勘左馬

河地右左馬

一色之悟

山下兵衛

不破善成

松崎庄左馬

大西金左馬

長瀬之斗

伏見右左馬

大塚善成

右丁右人より宣中より通ひあり

三上氏より撰く皮お歳之小迫前のおと子小江中お江大

小江は繁母衣金の制 勝石況中卯の年 大小江組の小籠長

七人合修より首より右の字と印ぬき男ひの公印

師連石川平兵衛 横山山城 月久悟 同式部 石川茂平
水越徳左衛門 樋田平左衛門 板江兵衛 安彦左衛門 平北江流左衛門
徳与右衛門 神左衛門 言昌兵衛 三橋主水 木原信左衛門
石妻左衛門

定番頭は 岩田勘吉左衛門 家永勘吉兵衛

了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了

浮武者は 赤田七郎左衛門 後野將監
河原兵衛 西村右馬

卯の辛くろ子小將百の格格并並縄子子全全此此句句 是是山山之之
少彦中務 樋田右京 小幡高内

番頭は 多賀大炊 生駒之丞 宮内右衛門
行山之丞 不攸忠兵衛 伴 雅樂

大小小小儀儀陣地陣地全全九九七七文文右右書

番頭は 墨原左衛門 恒川右衛門 日丸右衛門 兵庫
意平左衛門 德吉左衛門 津川右衛門 外記

儀儀是是母母長長制制 木木之之山山

成田右衛門 不攸加左衛門 大地左衛門 志持左衛門 津田右衛門 外記
西尾左衛門 小川左衛門 七田左衛門 赤田右衛門 長比右衛門 日丸右衛門
高尾左衛門 山崎左衛門 政山右衛門 脇田右衛門 常力 吉并左衛門 右記

依多忠景 宮崎義人

令のそんとして腰指を多人数に色組せしむの御

名白く係入

一平山文書里母衣渡田之左衛門忠景之云院之云云七百八の
山崎信之四十二紀初之付紙由戻田流左の死但別信左の了ん仍五流記

重盛守基

依多忠景

平定延基

柳田中助

神保三計

不被如景

小川久景

津田外記

付頼樂友

宮崎宗女

白尾集人

鹿持七郎

脇田常力

首老集人

七田四郎景

木野内通

稻多左近

梶川左九郎

林助八

古公不在景

岩田勘左

山内行織

津田流左

佐川孫作

進士作左景

友田刑平

恒川監物

吉田良友

林流左景

平景志平

河村孝景

河内助景

中村甚四

大平左三

後多勘景

中村流左景

行景之七郎

之山市景

有次宗女

有山忠左景

山崎流左景

長井景景

小川流左

福景甚景

笠原景景

星田久左

田家四郎

等也

一平小川星田不陳之
橋井九左景

入

山崎閑女

同長門

因崎俊中

先陳一組八

同常力

村井之部

小坂淡政

安見太左

高島左京

津田和景

足利氏

— 吉原集人

藤田八郎景

一組八

本多甚房

長九左左

奥村持津

成康内務 水野内通

足源氏 — 上坂因幡 多々越後 同下野

一經八 — 世系初相 奥野紀行 出羽監物 神谷任康

奥村後房 奥村周防 小幡後河

足恒氏 — 大橋外記 大内原内三 同口元之丞 野村小吉 稻垣掃部

奥村河内 赤田貞徳 同丹後 奥村玄蕃

一經八 — 神尾主厨 同圖書 上枝内記 同民部

中川隆理 同大隅 加多石尾

足恒氏 — 後多又曲 野村九右 依多汝兼 同田集人

富田正作 松田左門 友野伴是

前田隆理 同七左兼 不破兼之 同美土郎

後殿八 — 石野俊成 平四兵衛 大音重三

御軍役

一經七本 弓宗武拾騎 弓下三本

是万石 — 鉄炮首一挺 武拾同三挺 小筒九挺

弓土池 能事一本抄極丸仁

一經六本 弓宗拾四騎 弓下五本

七子石 — 鉄炮世間一挺 小筒武拾挺 弓土池

德之十五本

德四本

女子石
——
铁炮九月五挺

德武拾五本

弓武拾五

小筒拾二挺

弓武拾

弓武五本

四子石
——

德之本

小筒拾挺

弓武六挺

弓武挺

铁炮九月一挺

德武拾本

三子石
——

德之本

弓武挺

弓武武挺

德拾五本

铁炮小筒六挺

铁炮小筒六挺

二子石
——

德之本

德拾本

弓武武挺

德拾五本

铁炮小筒六挺

一子石
——

德之本

铁炮小筒二挺

德五本

六百石
——

铁炮小筒五挺

德之本

石之通也

一平。曰加列知行御军役

一壹万石

德七本

弓武拾五

小弓下二本

铁炮拾五挺

一七子石

德五本

弓武拾五

小弓下二本

铁炮拾八挺

一五子石

德之本

弓武拾五

小弓下二本

铁炮拾二挺

一四子石

德之本

弓武拾五

铁炮拾挺

弓武挺

一之三子石

德之本

弓武拾五

铁炮八挺

弓武挺

七五挺个

一武女石 銃式中 弓上武騎 銃炮六挺 銃十中

一千石 銃式中 銃炮三挺 銃五中

一五百石 銃炮一挺 銃二本

能列越中知切御軍役

一壹万石 銃七中 弓上拾五騎 小弓中一中 銃炮式拾挺

一七子石 銃七中 弓上拾五騎 小弓中一中 銃炮式拾挺

一五女石 銃三中 弓上七騎 小弓中一中 銃炮十挺

一四女石 銃三中 弓上四騎 銃炮八挺 弓式池

一三子石 銃二中 弓上三騎 銃炮六挺 弓一池

一二子石 銃三中 弓上三騎 銃炮四挺 銃八中

一十石 銃一中 銃炮二挺 銃四中

一六石 銃炮一挺 銃式中

右宮子及左之能御陳以家中 諸武具以辰損中由之宗

連々之役用意方石 作也

元和貳年九月十日

大筒之定

一貳万石 六拾目一挺 外拾目貳挺 前田對弓 七種

一壹万石 七拾目 五拾石 三拾目一挺 外拾目三挺 前田修理亮 利好

一五子百石

廿拾月一挺

前田七郎兼利貞

一五子石

廿拾月一挺

前田茂作真知

一三万石

廿拾月一挺
二十月一挺
二十月一挺

長久花出
連托

一五万石

廿拾月二挺
廿拾月十挺

平多世房与
政重

一三万石

廿拾月一挺
二十月一挺
二十月一挺

横山之城与
七知

一五万七石

廿拾月一挺
二十月二挺

村井邦彦与
七光

一五万石
六十石

廿拾月一挺

世系出与

一五万石

廿拾月一挺
二十月一挺

山崎長門
日鏡

一五万石

廿拾月一挺
二十月一挺

安田越後

一五万石

廿拾月一挺
廿拾月一挺

奥村河内
字明

一九石

廿拾月二挺

神谷信濃

一五万石
七十石

廿拾月三挺
廿拾月一挺

是崎海内

一三万石
七十石

廿拾月三挺
廿拾月三挺
二十月一挺

吉山豊後

一八石

廿拾月三挺

松平伯耆

一八石

廿拾月三挺

神尾三郎

一八石

廿拾月三挺

安田下総

一三万石

廿拾月三挺
廿拾月三挺
二十月一挺

上杉甲斐

一五十五石

廿拾月三挺

津田和泉

一七子武百石

之拾月三挺

之為志摩

一七子石

之拾月三挺

小坂汽路

一七子石

之拾月三挺

赤座古流 孝治

一六子石

之拾月三挺

中門宮内

一六子武百石

之拾月三挺

奥野紀行

一六子石

之拾月三挺

横山武部

一七子石

之拾月三挺

寺西石特

一七子石

之拾月三挺

小儀路河

一五子石

之拾月三挺

弓島丸京

一四子武百石

之拾月三挺

生駒監物

一四子九百八拾石

之拾月三挺

奥村周防 七元

一六子武百石

之拾月三挺

石野濱波

一六子武百石

之拾月三挺

不破亮之 亮

一六子石

之拾月三挺

上校内記

一六子石

之拾月三挺

其見右近 元膳

一六子石

之拾月三挺

成内内房

一六子武百石

之拾月三挺

奥村均後 英男

一四子石

之拾月三挺

大音主司

依利光字余永京上改

一四子石

沙拾目三挺

山下兵庫

一四子石

沙拾目三挺

不取是書

一四子石

或拾目三挺

玉井市正

定

一冢中長篠之赤、和具之之事

一洪炮吹貫自、紋黒、赤、具之之事

一洪炮小銃並、赤、上、に紋具之之事

一弓也、複、如金の耐斗、長、大、幅、三、人、之、事

一大小銃、亦、金、之、修、給、幅、三、七、八、九、在、書、事

一中小銃子、小銃、並、長、金、之、事

一銃、書、是、鏡、金、之、事

一弓、上、に、皮、相、續、之、事

一甲、立、和、具、之、事

一長、銃、並、是、隆、先、六、尺、金、之、事

一冢中、弓、矢、柄、和、具、洪、炮、柄、和、具、之、事

以上

軍法定

一武者、押、並、陳、北、之、以、一、組、先、經、之、事

侮を離れしとて陳れむく有之族可為越度事
一獲お尋り次第定、並之通、ふ可有お進之人下、立
以有右之次第、為、奉、中、子、并、身、後、三、為、同、前、
有獲、お交、并、者、三、為、曲、言、事、

一武者押之何賜、及、由、了、以、美、一、切、有、有、為、子、

一敵陣、上、先、子、の、為、見、也、お、越、之、美、小、乃、可、也、後、後、
之、向、之、堅、令、停、止、以、也、お、地、之、後、お、交、是、可、一、為、
此、之、事、

一先子之者、及、并、罷、本、之、向、之、我、く、有、下、知、箱、後、卒、
尔之勵、并、仕、美、并、也、細、令、執、為、言、在、一、方、曲、之、事、

一諸事、ま、り、人、中、并、美、ハ、ふ、一、お、有、り、也、お、地、之、事、
對、奉、行、人、及、中、事、ハ、お、立、入、程、也、其、者、一、所、越、度、事、
一乃、高、産、之、供、也、お、之、者、是、也、以、有、美、後、可、
隨、之、也、此、事、

一於、陳、中、之、事、と、於、お、敵、ハ、其、之、人、之、後、百、止、可、也、事、
一先、子、の、為、之、美、美、子、の、人、之、後、と、ら、一、後、下、知、事、
一軍、人、危、張、之、に、お、一、從、他、所、危、高、家、之、先、子、の、お、
子、一、切、停、止、之、事、

一喧嘩口論仕ぬ事有之尤任。法分。双方。可成致。若
小者。不見進。其場。有合者。一。為。進。及。中。
一。中。家。對。以。肌。と。尻。有。致。之。外。者。有。之。元。於。以。來。
因。此。才。一。為。曲。之。也。

一侍小者。一。次。家中。乞。者。何。之。家中。有。之。尤。能。
而。陳。中。插。以。後。一。切。之。有。之。自。是。曲。人。之。在。并。者。
主人。之。元。个。五。後。日。以。可。一。事。

一。味。方。之。五。地。下。之。と。狼。務。之。在。如。一。可。一。外。宿。與。
以下。如。以。定。一。の。中。お。後。一。事。

右條。之。有。違。背。事。一。之。為。如。之。件。

慶長十九年十月十日

後。之。以。軍。法。行。居。一。れ。テ。四。り。全。以。以。之。以。先。之。行。烈。一。鉄。炮。以。

- | | | | | |
|------|------|------|------|------|
| 世殿小左 | あね織部 | 世田市氣 | 後家又助 | 野村小左 |
| 石見之左 | 猪垣掃部 | 世田四郎 | 水地縫殿 | 上坂又左 |
| 安房左 | 堀田五右 | 多田左衛 | 石川左衛 | 成田五右 |
| 野村左 | 河村左 | 玉井左 | 後家又助 | 大河左 |
| 大河左 | 安房左 | 大橋左 | 堀之助 | 後家左 |
| 世殿左 | 中左 | | | |

付不取に以候之

鑓奉行 小幡同務助

鑓奉行 大平左馬

弓奉行 吉田小左と 久田美左衛

右如件

一平後家大向家守兼隆之守田江公作同之斗板江兵助不入之且又
四先子行烈上八不言之後炮既上り
一平曰小幡八山崎守一但之池奉行大平左又同但之山行上り

之臺園書卷之身丸紙

